

マグロ完全養殖に投資

肥銀など2ファンド 1億2600万円

人工化からの完全養殖のクロマグロ生産に取り組む水産加工業のプリミーと、グループ会社の養殖業の福

の安定供給を目指しており、調達資金はエサの購入やいけす更新などに活用。自己資本の増強も図る。

の普通社債5000万円も引き受ける。プリミーは07年、近畿大水産研究所（和歌山県）が世界に先駆け

的に始めた。同社の濱隆博部長は「天草のマグロを安定供給できる態勢を整えたい」としている。（中原功一朗、原大祐）

吉魚類（天草市）に対して、肥後銀行と肥銀キャピタルが出資する地域活性化ファンドと、福岡市の投資ファンドが計1億2600万円を投資することが28日、分かった。

両社の第三者割当増資に対し、地域活性化ファンドが計2800万円、福岡市の投資会社ドーガン・インベス

トメンツが運営するファンドが計4800万円を引き受ける。いずれも実施日は29日。地域活性化ファンドは、福吉魚類が発行す

る完全養殖マグロは世界的に天然マグロの漁獲規制が進む中、米國などで需要が高まっており、プリミーも昨年11月、米國輸出を試験